

学校保健と 地域保健の連携

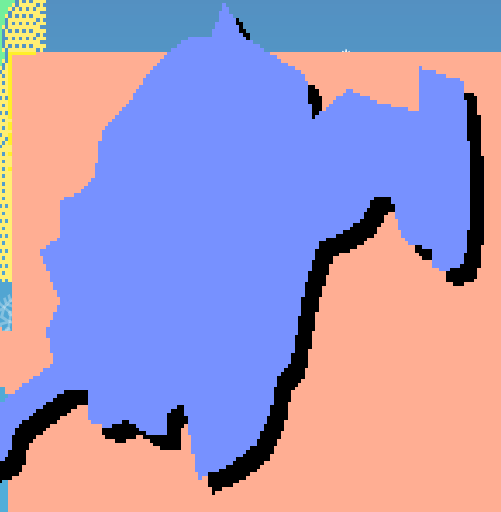
—小山市における取り組み—

【事例提供者】
小山市役所健康増進課 福原 円





人口 165,696人
高齢化率 21.5%
【H26.10.1現在】

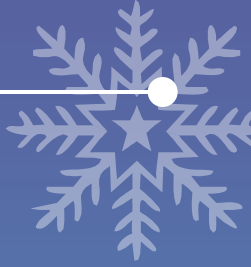


保健師26名（産休育休4名）
地区担当制と業務分担制



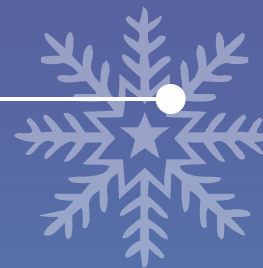


小山ブランド「ハンドベル」



平成26年12月13日 (土) 14:00~
小山市立文化センター (無料)



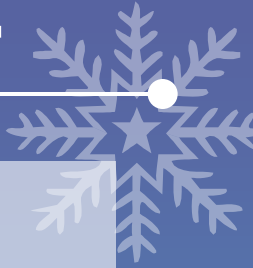


起承





小山市健康推進員会の概要

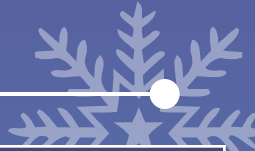


- 発足 平成7年4月
- 任期 2年（非常勤特別職）
- 人数 262名（自治会単位に1名選出）
- 配置 行政区単位に支部（6支部）
- 活動 地区担当保健師と一緒に活動





基本的な活動スタイル




1年目	【Plan】	<ul style="list-style-type: none">・各々の地域の健康課題について話合う・その健康課題に向けた取組み検討
	【Do】	<ul style="list-style-type: none">・実践活動
	【See】	<ul style="list-style-type: none">・自分たちの活動についての振り返り (年度末)
2年目	【Action】	<ul style="list-style-type: none">・前年度の反省を踏まえて、活動計画立案と実施・支部ごとの広報誌作成





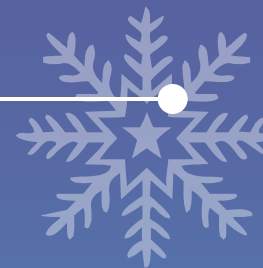
保健師の関わり



1年目	【Plan】	<ul style="list-style-type: none">・仲間づくりのアクティビティ・健康なまちづくりの理念、市の健康づくり施策などの学習機会を提供・地域の統計データなどの提示 
	【Do】	<ul style="list-style-type: none">・健康教室や啓発活動などを共に実践・地区懇談会の開催
	【See】	<ul style="list-style-type: none">・住民アンケート結果をフィードバック・評価シートの作成など
2年目	【Action】	<ul style="list-style-type: none">・前年度の反省を踏まえて、活動計画立案と実施・次期の引継会の計画

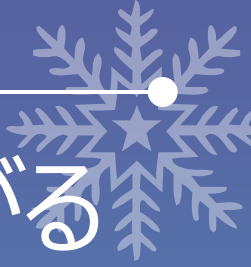


美田支部の活動紹介





美田支部の活動紹介



この地区は、美しい田園風景が広がる
ところでは、現在でも用水路に魚を捕りに
来る親子の姿をみかけたり、ほたるを育て
ている小学校もあるなど、美しい自然が
残っている静かなところで、初夏の水田に
防犯灯が映る風景などはほっと心を和ま
せてくれます。❄️





地域はとてもつながりが深く、人々は温厚で協力的、子どもたちも道ですれ違うと元気にあいさつします。

お米や野菜がおいしいこの地域では、朝食を食べない小学生はほとんどいません。3世代家族も多く「朝ごはんを食べていきなさい。」とおじいちゃん、おばあちゃんが声を掛けてくれるおかげです。





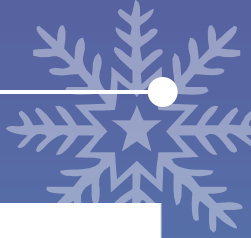
近年、田んぼの淵をウォーキングしている人を随分みかけるようになりましたが、血糖値が高い人が多いという健康課題を持っています。

また、高齢者が多い地域ということもあり、介護の問題は身近で、特に認知症への関心も非常に高くなっています。





地区のデータ



<人口> 14,157人
(高齢化率 31.1%)

<特徴>

- ・農村部（顔が見える近所付き合い）
- ・人々のつながりが深い
- ・3世代同居が多い（高齢者は多いが独居はそれほどでもない）
- ・子どもの肥満が多い
- ・歯科保健に関する知識不足

<医療機関>

病院（医科）・・・5/101

病院（歯科）・・・5/75

<教育施設>

小学校・・・4/27

中学校・・・2/11

*小中学校とも各学年1～2クラス



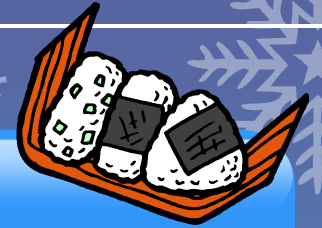


禁煙

地域で健康教室を企画



生活習慣に関する健康課題



「ごはんは残しちゃいけない」
「たくさん食べることが美德」という家庭の風習

塩分の濃い食生活



先生、タレもう
一つちょうだい



近所のお茶のみ付き合いが残っており、常時ストック
してあるお茶菓子





保健師が感じていた課題



地区の健康づくり事業に参加するのは、中高年女性に偏ってしまっている

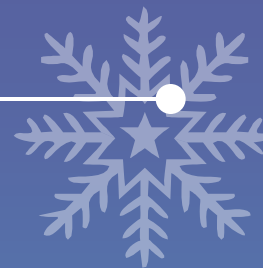


健康推進員は自治会でまわり順となっており「順番だから」としかたなく引き受けている人が多い



地区の小・中学校と連携した健康づくり活動ができていない





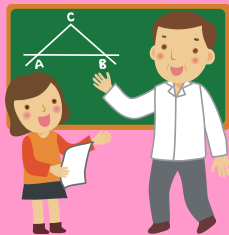
轉系結



- * 地域の健康情報の提示と議論
- * 地域の健康課題を共有
- * めざすべき地域の姿を共有



A小学校



B小学

C小学

D小学校

- * 「つなぐ」人材の発掘
- * 一つの活動がモデルに





保健師がぶつかった障壁



学校って
結構敷居が
高いなあ



キーパーソン
は誰？



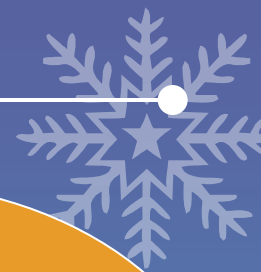


保健師がぶつかった障壁

相手の組織
の文化がわ
からない



どんな段取り
で話を進めた
らいいの？



各学校の学校祭に健康推進員が参加





ほん いえ かくじん
★「こども110番の家」を確認し、
何かあったらかけこみましょう！
けいさつ・ぼうはんきょうかい

THE SOUL
LAVERY
INTO A TRANCE

Life Well

事前準備でパネル製作



* 成功体験でエンパワメント



* 養護教諭の先生方とも信頼関係が
築け、相談し合える仲になった

小学校の総合学習で健康教室





* お互いの役割を理解することで、より効果的な取り組みができるようになった

I はじめに

小山市の目指す小中一貫教育とは

小中学校が連携して、9年間の学びをつなげ、
子どもの豊かな成長を目指す教育

小中一貫教育推進スケジュール

The diagram illustrates the 'Small Middle School Integrated Education Promotion Schedule'. It shows a timeline from elementary school to middle school, divided into stages. The stages are labeled as follows: 第1ステージ (1st Stage), 第2ステージ (2nd Stage), 第3ステージ (3rd Stage), and 第4ステージ (4th Stage). The diagram also includes a section for '小中一貫教育推進スケジュール' (Small Middle School Integrated Education Promotion Schedule) and a section for '小中一貫教育推進スケジュール' (Small Middle School Integrated Education Promotion Schedule).

アクションカードを使った 学校での教育対応について

小山市立小中学校

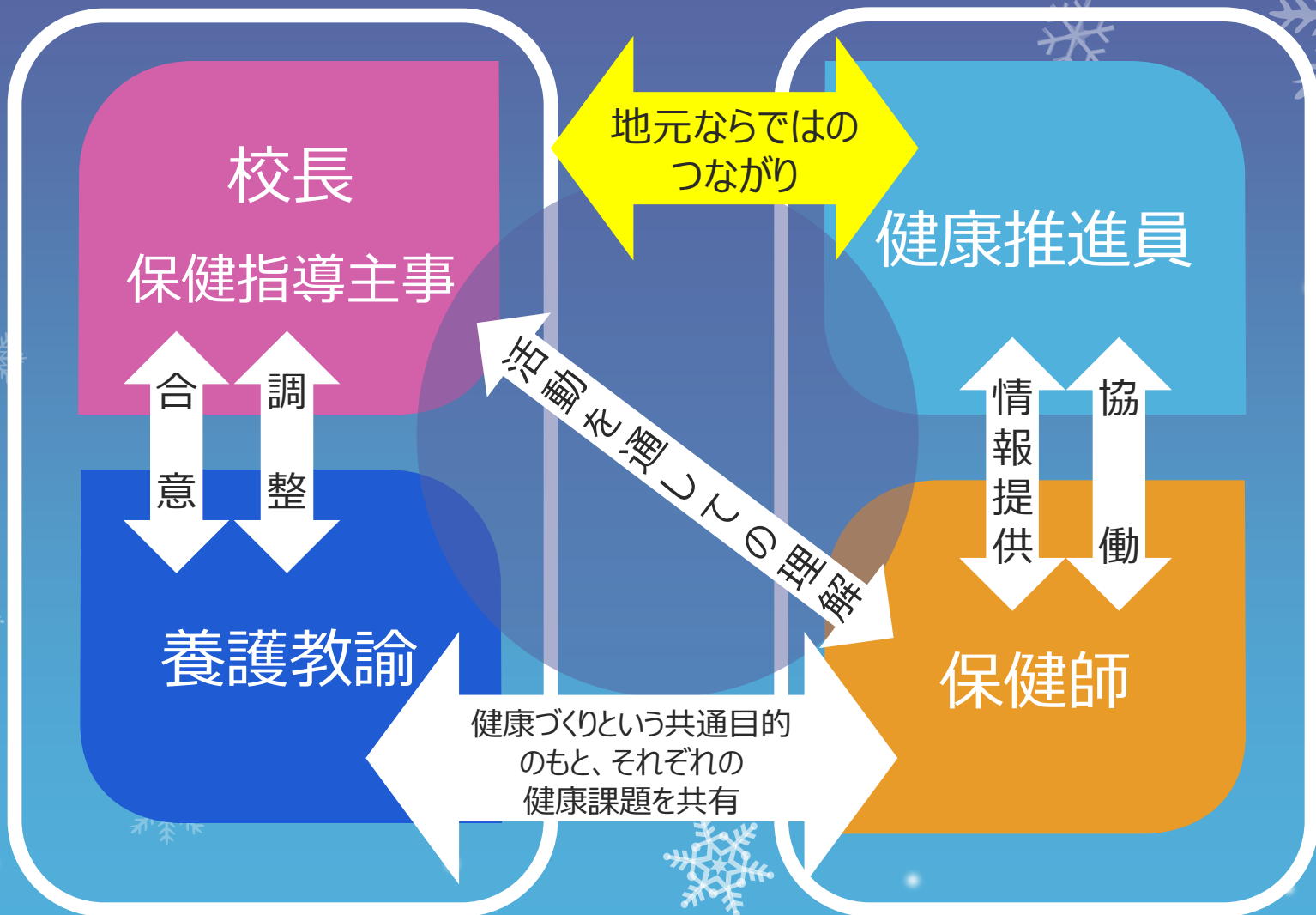
校長 鈴木正之先生

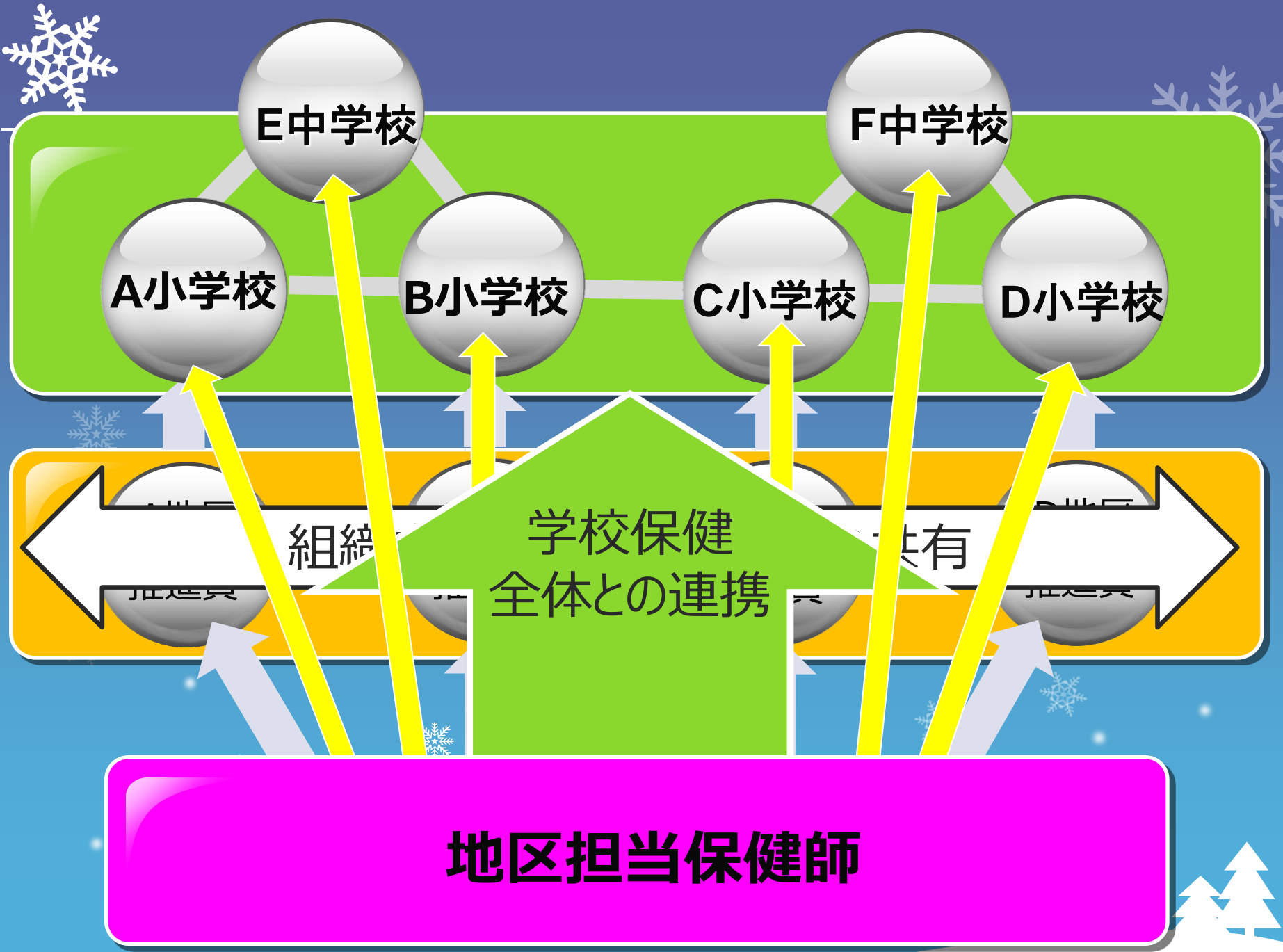
地区養護教諭部会研修会のお誘い



学校保健

地域保健





地区担当保健師

学校保健
全体との連携

組織

共有

E中学校

F中学校

A小学校

B小学校

C小学校

D小学校



学校保健と地域保健の連携が進んだ理由

- 健康づくりの目的や健康課題が共有できた
- 健康推進員同士の仲間意識が高まった
- 成功体験により健康推進員がエンパワメントされた
- 互いの役割の理解が進み、連携することでのメリットが見出せた
- 信頼関係が構築できた

ご清聴ありがとうございました

